

【講座のねらい】

観察、実験を伴う実習による実体験や実社会での問題発見・解決につながる教科等横断的な学びを意識した講義・演習等を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方や評価について理解を深め、実践的指導力の向上を図る。

【対象】 高等学校等の理科担当教諭 (主幹教諭含む)

【定員】 24名



【研修日程・内容】

① 1h
7/19
遠隔型研修 I
「説明・協議」
○ 課題の明確化
○ STEAM教育との関連性

② 0.5h
7/22~
オンデマンド型研修
「説明・講義」
○ 理科教育の現状と課題
○ 授業改善と評価の充実
○ 実習のポイント

③ 2日間(6.5h、6h)
8/29~8/30
集合型研修
「観察、実験等を行う実習」
○ 「物理」「化学」「生物」「地学」の観察、実験
※ 4科目の中から1科目選択
○ 実社会での問題発見・解決

9月~1月
職場実践
○ 研修の成果を基に自校で行う授業実践

④ 2h
1/27
遠隔型研修 II
「実践交流」
○ 実践成果発表及び交流

講師 ③酪農学園大学教職センター准教授 金本 吉泰 氏

元理科教育センター職員
理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究